

# 事業における自然災害対策に関する調査結果

【回答期間】

2023年3月20日～2023年7月7日

## 事業継続計画(BCP)

－事業継続計画（BCP）について、どの程度知っていますか？

■ 実際に計画を策定している

1.5%

■ 内容は理解している

6.0%

■ 言葉は聞いたことがある

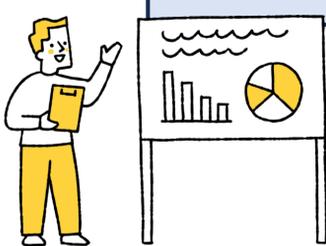
30.1%

■ 全く聞いたこともない

62.4%

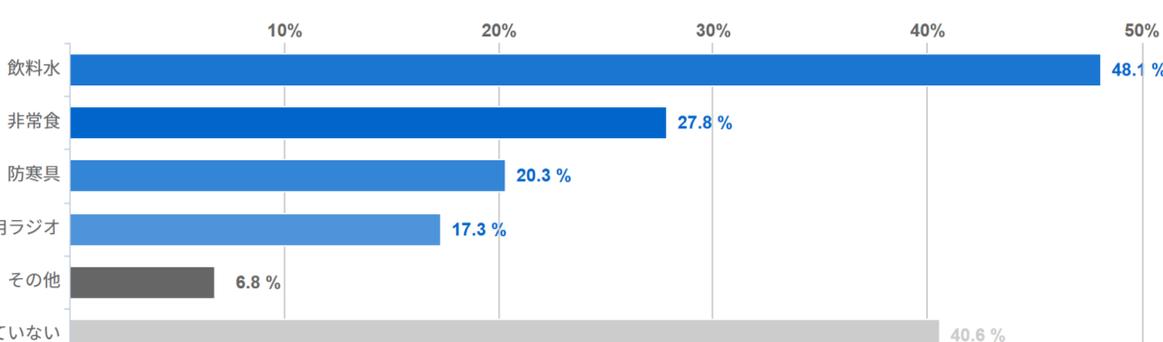
### 事業継続計画(BCP)とは…

自然災害や感染症など緊急事態が発生した際、**重要な事業を継続させること**、もし中断しても可能な限り短い期間で復旧させるための方法や体制を示す計画のこと



## 仕事場での災害対策－備蓄品－

－あなたの仕事場では、災害対策としてどのような備蓄品を用意していますか？



## 災害発生時に事業を継続するための備え

－災害が発生したときに、事業を継続するための備えとしてどのような取り組みをしていますか？

### 美容業

- 資金を備えることと設備、備品などをしっかりと管理を行うこと
- 携帯可能な道具を必要最低限揃えて、営業場所とは別の倉庫に備えている
- 必要最低限の道具は、簡単に一纏めにして持ち出せる様な配置にしている
- 災害が起きた時の保険に入っている
- 保険に入る。(建物、機材、商品など) 同じ職業なら身一つあればなんとかなるので、なるべく怪我なく命が助かるようにする
- 具体的には鏡などの耐震対策、水、材料の備蓄
- 防災リュックを準備している。生活に必要な物がある程度揃えている
- 電気を使用しない石油ストーブを置いて、やかんでお湯を準備できるようにしている
- 顧客のデータを管理したり、火災保険などの備えなどを用意している
- 水が使えなくなると、シャンプーできなくなるので、水の備蓄をしている
- 災害や休業補償の保険に加入している
- 火災保険に入っている
- 災害が発生して電気、水道、ガスが止まってしまうと仕事ができなくなるので、最低限の仕事であるカットができる様にドライシャンプーやカセットコンロ、水を備蓄して備えている
- ビジネス継続計画作成、データバックアップ、施設点検保守、従業員対策、保険加入

### 小売業

- 台風ときには、旗など飛びそうなものは撤去したりしている
- インフラに被害が出た場合、事業を継続することはできないので原材料の確保位しかしていない

# 建設業

- データ化されている顧客リストや得意先様の連絡先などをバックアップ保存している
- 当面の運転資金の準備、非常時電源装置の発電機を準備している
- 協会入会供託金を納めている。火災保険等の損害保険に加入している
- 震災時一番困ったのはガソリンの確保だったので、仕事でも日常的に使う携行缶2缶分常備している
- 電気の供給が止まった時のための発電機や、非常食などの準備をしている
- 3日分の水と食料トイレを準備、仕事場に留まった者が家族の安否を確認出来る様にする
- 飲食の備えのみ
- トラックの非常用燃料の備蓄を100リットル、常時備えている
- リチウムイオン電池のバッテリーで使える工具を揃えて備えている
- 現場の仕事で継続出来るように、お客様と一緒に考えて備えをしている
- 仕事道具の確保はしている。有事に備えていつでも対応出来るようにしている
- 元請けと連携して現場の見廻り、足場の確認現場までの安全な道の共有

# 運送業

- 飲料水は常に備蓄している。又、事業で使用する車両はガソリンを入れる時は残量が40%位になったら満タンに入れるようにして、災害時にガソリンがなく事業が出来なくなるように備えている
- 車が重要なので洪水などの場合は、高台の駐車場に停めたりしている
- 道路交通状況次第になると思うが、自分自身がまず無事である事

# WEBサービス業

- パソコン、データ、ネット環境さえあればやっていける為、データはUSB保存。パソコンがいつでも購入できるような経費とスマホによるインターネット環境常備
- データはサーバーにアップするなどの対策をしており、情報漏洩が無いように対策はしている
- 電子データのバックアップ。持ち出し不可でない重要なデータはクラウドに保存する
- 事務所で仕事ができなくなっても問題ないよう、テレワークの環境
- データをクラウド化にしている
- 定期的にソースコードをコミットするなどして、保持している

# 医療・福祉業

- 流通が遮断された時を想定して、医薬品や手袋・マスク等の備品のストックを多くする取り組みをしている
- 食料と備品の一年分の備蓄と防災訓練を実施する。避難ルート設定
- 再開するにあたっての当面の事業資金の蓄えを、年間売り上げの半分貯蓄
- 毎年個人データに関しては、バックアップをした上で保存するようにしている
- 災害時に職場より近隣に住んでいる職員が、迅速に対応できるようにシュミレーションを行っている
- 感染対策として、口腔ケアの重要性を考えてマスク・手袋・紙コップ・歯ブラシ・洗口薬等の備蓄
- 想定される被災時の避難に対処するくらいしか日頃訓練していない

# 個人投資家

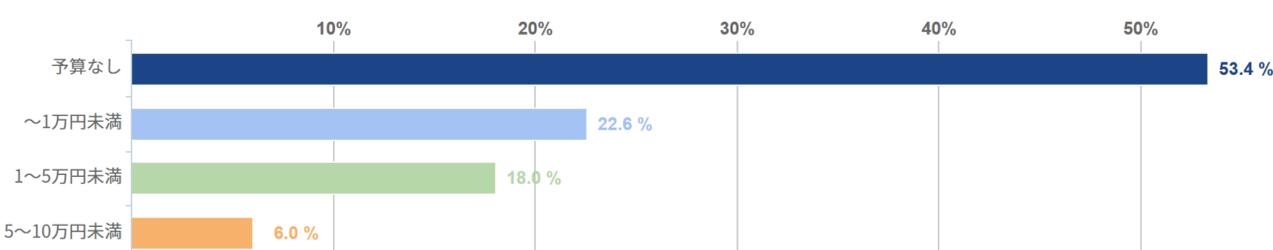
- PCや重要機材などは1箇所にまとめて、いざという時はすぐ持ち運び出来るようにしてある  
パソコンやスマホが壊れてもオンラインからデータを取り出せる準備をしている
- 災害だけではなくセキュリティ的にもウォレット等の復元フレーズはしっかりと保管している。pcがダメになっても復元出来るようにしている
- ネットワーク環境の予備など準備。外でも業務ができるように準備している
- 災害が発生して労働ができない状態になっても、収入が入り続ける不労所得を事業の中心にしている
- 飲料水と食糧の確保、ソーラー発電の充電器、ろうそく、防寒具などを物置に保管している
- 有事には株などのボラティリティが高まるので、素早く対応できるようにニュースはマメにチェックしている。また取り引きができるようにPCのほか、携帯や充電器、バッテリーは用意している
- 日本の銀行口座以外も用意している
- 緊急事態に備えて食料品の備蓄、電気がとまった時のためにソーラーパネルの準備
- 非常用の水、食料、非常用トイレ、灯りなどを3日以上は保管するようにしている

# その他

- 翻訳
  - 食料や水道の確保と、分かりやすいように書類等をまとめている
- 保険業
  - パソコンさえ動けば仕事を継続できるのでモバイルバッテリー、ポケットW-iFiを準備している
- 保険代理店
  - お客様の保険内容を常日頃より把握し、万が一に備えられる保険を提案できるようにしておく
  - メンバーの緊急連絡先の共有、緊急連絡網の完備。メンバー同士が連絡できるよう工夫している
- 空調設備
  - 少しの食料と水を準備
- 不動産売買仲介業
  - PCとスマートフォンの同期。緊急時連絡先リストも携帯電話に
- 保険募集人
  - 災害時、所属メンバーの安否を確認するための連絡網を決められている
- 飲食業
  - 災害が発生した時のために、取り組みとして火災保険には入っている
- 製造業
  - 火災災害保険に加入している
- アニメーション監督 演出
  - できるだけ周りとのコミュニケーションを円滑にする事を心がけている
- 飲食業
  - 災害の種類にもよるが発生した場合被災者への炊き出し出来る器具の準備はしている
- 情報通信業
  - 業務情報が保存されているサーバのバックアップを別の事業所設置し、物理的なデータの破損リスクを軽減、定期的な避難訓練

# 災害対策のための予算(年間)

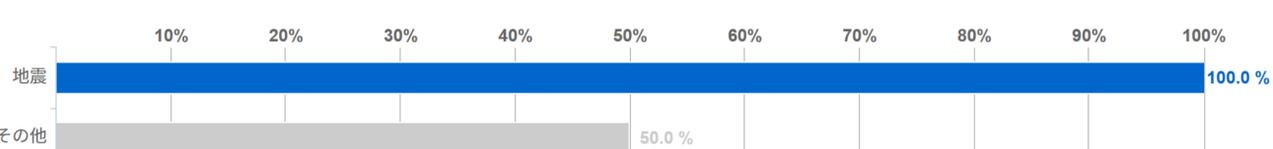
—災害対策のために、年間でどの程度の予算を割いていますか？



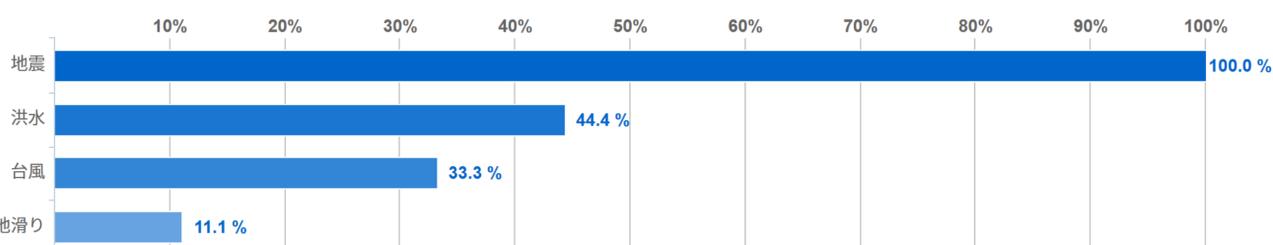
# 備えるべき自然災害(地域別)

—あなたの地域ではどのような自然災害に対する備えを重点的にすべきだと思いますか？

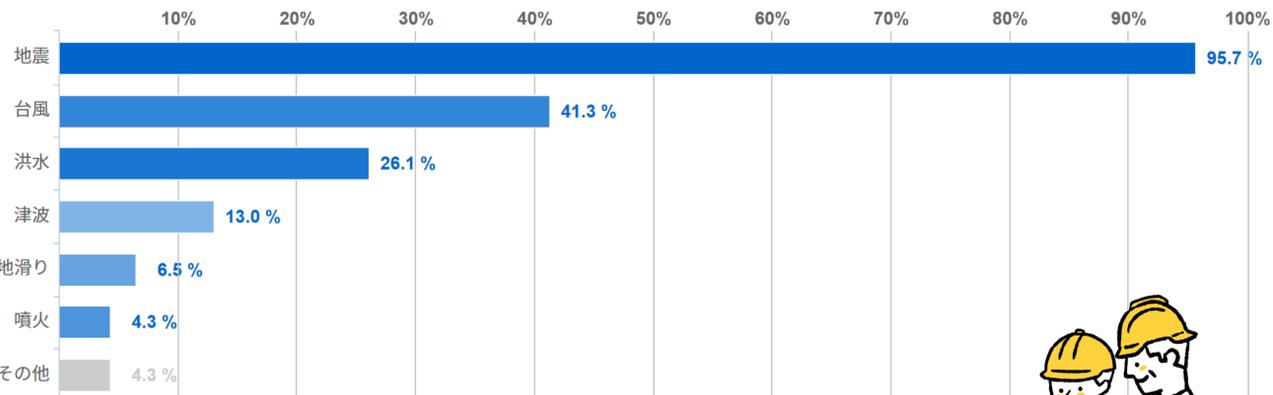
## 北海道



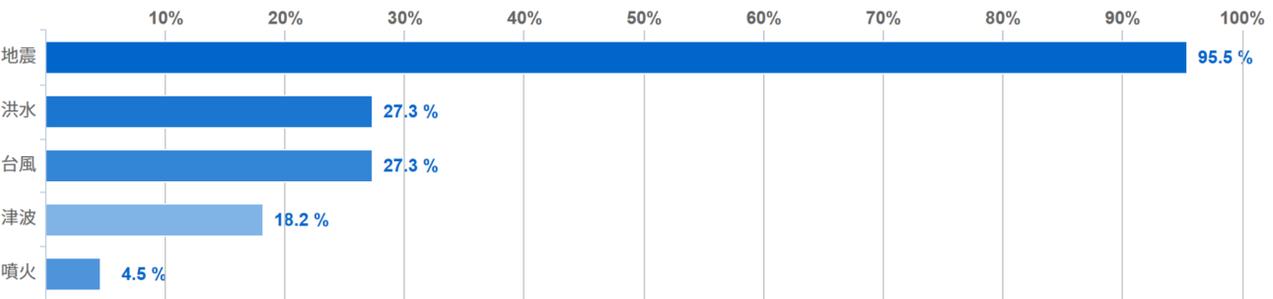
## 東北



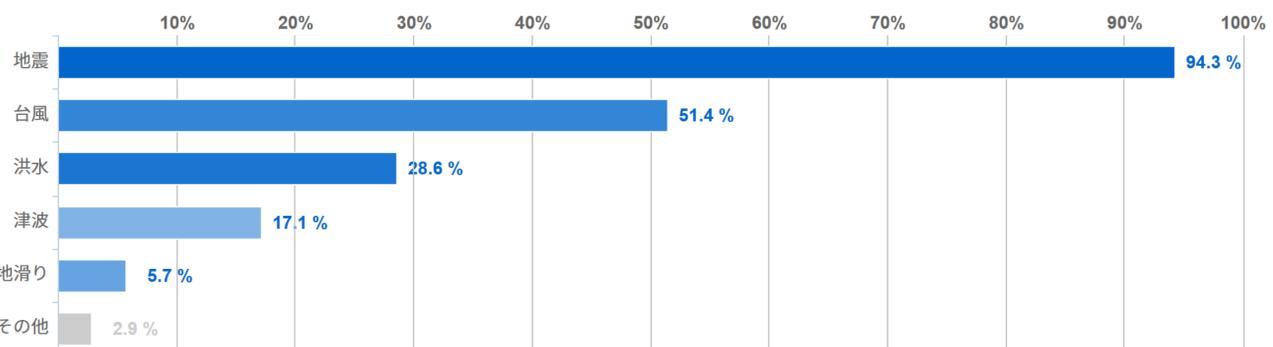
## 関東



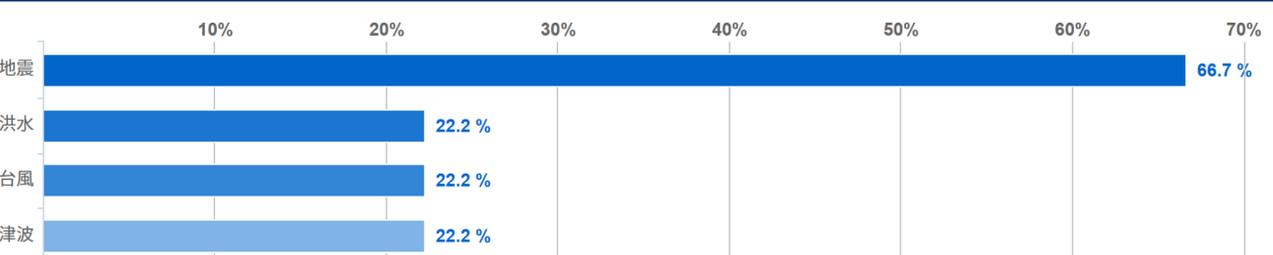
## 中部



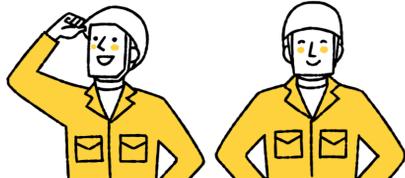
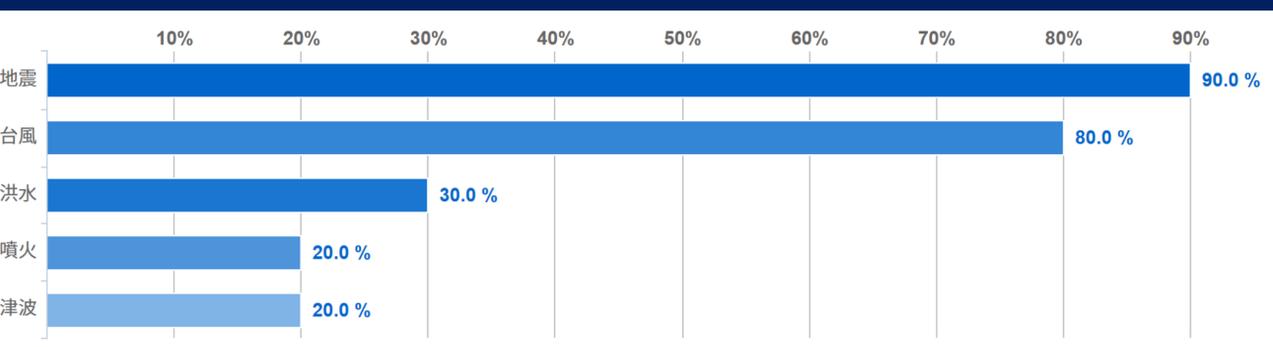
## 関西



## 中国・四国



## 九州・沖縄



# 今後追加・改善したい災害対策

－今後、追加したい・改善したいと思う災害対策は何ですか？

## 北海道

- 代理店元締めより物理的な装備品などがあればよいと思う
- 避難場所の確保。集団避難先ではないところ

## 東北

- 青森県
  - ・ 停電した時の暖を取る方法が自宅に無いので、薪ストーブの準備とインバータ付きの発電機の常備が必要
- 山形県
  - ・ 地球温暖化対策として自然エネルギー事業の推進。特に太陽光発電システムや小水力発電所
  - ・ 電気が止まることを想定した防寒対策として、断熱性を高めたい
  - ・ 水道や電気が使えなくなると、多少の影響が出るのを想定して大型のバッテリーがあっても良い
  - ・ 非常食など日頃から準備しておきたい
- 福島県
  - ・ 最近乾燥して火事が多いので、延焼対策をする
  - ・ 東日本大震災を経験しているので、地震に対する対策を強化したい

## 関東

- 茨城県
  - ・ 食料などを点検することや、PCの電源やデータについても整理しておきたい
  - ・ 暴風。台車なども飛ばされてしまう為、どのように配送したらよいか日頃からシミュレーションしている
- 群馬県
  - ・ ライフラインが使えなくなった場合の備えをしておきたいと考えている
  - ・ 通信障害対策。災害が発生すると通信障害が起きる可能性がある
- 埼玉県
  - ・ 特に発生頻度の高い台風に対する対策を備えておくこと。また耐震も対策する
  - ・ 防災無線だけでは万が一聞こえなかったりする場合があるので、会社・家庭に災害無線機器みたいな物を配布し各自治体から発信される無線で確実な避難が出来れば良い
  - ・ 店舗のシャッターなどの保護や、災害用のライトや電源などの確保
  - ・ 災害によって自分の商品が破損してしまった場合どうするのが前もって考えておかなければならない
  - ・ 速やかに復旧する計画・対策について継続・復旧すべき対象業務は何か、どの程度の水準まで継続・復旧が必要か、復旧するための目標時間はどれくらいか把握しておく
  - ・ 生活雑貨並びに食料品及び仕事の道具などを充実している
- 千葉県
  - ・ 火災と水没の災害対策を今1度見直して、改善できる範囲でやっていく
  - ・ ハザードマップ等をすぐに確認できる様にすることと、誘導が出来る様にする
  - ・ 非常食や防災道具、簡易トイレの準備などをしていく
  - ・ 事務所のエリアはハザードエリアでもあり、大雨時などでの床下浸水対策
  - ・ 年々増えている地震が心配なので、食糧、飲み物、防災グッズを改善する
  - ・ 足場の倒壊に備えて事前にチェックして安全の確保に努め、お客様が安心な施工をする
  - ・ 狭い家に引越して非常用品が置きにくくなってしまったので、物を減らして非常用品を優先的に置くように改善する
- 東京都
  - ・ 盗難があったときなどの対策について詳細を詰める必要がある
  - ・ 地震時に高い位置に設置している棚から物が落ちない様に、なんらかの工夫を施す
  - ・ バックアップをクラウドに残すことや、最低限の生活の備えをすること
  - ・ 建物が倒壊した際の避難場所や食べ物支給の場所を確認。ネットが繋がらないときの情報収集方法について調べる
  - ・ 余裕があれば、飲料水だけでなく食料についてもある程度は保管していく
  - ・ 台風、風災、大雨、洪水などは天気予報で情報を得られるから予測できる。急にくる地震に備えたい
  - ・ 災害が起きても、しばらくは生活が出来る程度のお金や食料などの備え
  - ・ 水や食料などの備蓄品を用意。ポータブル電池のようなものを確保する
  - ・ 医療品を多く扱っているので、薬局業者とも迅速に連携を取れるようにしている
  - ・ 電気は重要なので、大型蓄電池などを導入する事を検討する
  - ・ 非常用ラジオ付き懐中電灯の購入および設置。緊急持ち出しグッズの整理
  - ・ ゲリラ豪雨による床下浸水を防ぐ土嚢の準備をする
  - ・ 部屋があまり広くなく、保存食や飲料の用意ができていないので今後追加する
  - ・ 電気が使えるようにポータル電源を一台用意する
  - ・ 避難場所の細かい把握と備蓄の増加、災害があった時の情報を得る手段の模索
- 栃木県
  - ・ 災害後に耐えられるぐらいの資金をプールしておくこと
- 神奈川県
  - ・ 富士山が噴火した場合に火山灰が結構積もる地域なので、噴火対策はしておく必要がある
  - ・ 災害対策として、水の他の飲料も多少なり備蓄していくのと、他に何かあるか検討していく
  - ・ 個人的に、食料と水を少し持っている
  - ・ 地震に備えて割れやすい物の対策、棚から前に倒れてこないようにする
  - ・ 発電機、または蓄電機などでライフラインが途切れた場合に対応出来るようにする



## 中部

### ● 愛知県

- ・ 1週間程度の非常食や飲料水などの備蓄と、暖を取るための物などの用意
- ・ 災害系の保険などに加入しておく等の事前策をもうけておく
- ・ 今は保険に加入しているだけなので、店舗にも災害グッズを置いておく

### ● 岐阜県

- ・ 水や食料（口にできるもので保存期間が長いもの）等を、備蓄できると良い
- ・ 電気や水が突然止まった時に、施術途中のお客様に対処出来るものはあった方がいい
- ・ クラウドサービス活用、SNS連携、非対面営業、テイクアウト販売等デジタル化による柔軟性の向上
- ・ 緊急避難場所の確認、大雨時に迂回路の確認、家族との集合場所の取り決め

### ● 新潟県

- ・ 飲料水の準備、暖房器具や携帯用の用足しグッズなどを充実させる
- ・ 地震や津波わからないところはあるが常に何かに備えて行く
- ・ 電気が無くなると何も出来なくなってしまうので、バッテリーなどを用意する

### ● 静岡県

- ・ 食料や飲料水の備蓄、停電になった際の非常用電源の確保を考えていく
- ・ 改善したい災害対策は予算。大きな災害が発生した場合、多くのサービスエリアに影響を与える可能性がある。顧客は常にサービスを切断することになる
- ・ 防災グッズの見直し、防災マニュアルの作成、備蓄品の管理の改善
- ・ 家と会社と現場を行ったり来たりなので、家だけではなくトラックにも防寒着や食料を備蓄する
- ・ 飲料水、非常食、軍手、常備薬、懐中電灯、携帯ラジオ、予備電池、洗面用具、をあらかじめリュックサックに入れておく等、貴重品と併せて持ち出せるように準備しておく

### ● 石川県

- ・ 地震保険と火災保険には入っているが他にも保険があれば入る

### ● 長野県

- ・ 非常持ち出し袋の常備、水、食料品備蓄を検討している
- ・ 火災保険に入っており、地震が起きた際の補償としては十分とまではいかないが、何とかなるレベルだと思う。追加または改善とすれば、保険料を上げるしかないが、現実的ではないと考えている
- ・ 生活用の水を貯めるタンク、ペットボトルの水火が必要ない非常食

## 関西

### ● 京都府

- ・ 地震、火災で必要なデータを複数で管理する

### ● 三重県

- ・ 盗難、特定感染（コロナなど）大雪での水道管破裂などが多発した為、地域の情報や対策を早く知る事が肝要

### ● 大阪府

- ・ 飲み物や食べ物、寒さを凌げるものを用意していく
- ・ 地震や台風等の二次災害の事なども考えていく
- ・ 地震のときに商品が落下しないように対策したいが、お客様が取りにくくなるので、対策が必要
- ・ 仕事がなくなったときの資金準備をし、働ける状態になるまで持ち堪えなければいけない
- ・ 現状は火災保険を掛けているだけだが災害用の水や非常食なども用意したい
- ・ 電気、水道、ガスなど止まった場合の対応ができる手段の構築
- ・ 営業ができなくなった時に備えて、十分な資金確保が必要
- ・ 避難経路を歩いたり非常食を實際食べたり災害が起きた時に行うであろう事を実際にやってみること
- ・ 災害が発生しても収入が入り続ける不労所得が1つだけだと不安定なので、複数の不労所得の収入源を作る
- ・ 基本は外出なので、データ一式はクラウド化する事で対策は出来ている
- ・ 今後地震発生した時に備えて、保険加入など考えて行く
- ・ 道具棚や書類棚の転倒防止。突っ張り棒とかでもいいかなと思う
- ・ 避難所での口腔ケアの実施や、指導等がスムーズに行えるよう必要な用具を準備しておく
- ・ 特に台風は毎年のことなので、電気が止まると仕事に影響が出るので電気系の対応
- ・ 窓ガラスの強化や火災がおきたときの消火対策
- ・ 近隣の避難場所が一番良いところを厳選してしっかり把握することと、親や兄妹にもしっかりと共有しておく
- ・ ソーラーパネルを増強して、完全に停電になっても生活していける状況にする

### ● 奈良県

- ・ 水、防寒（カップ）、乾パン、カップヌードルとかを常備揃えている

### ● 兵庫県

- ・ 地震体験と津波の避難実施する。避難生活をしなくてもいいように、ハザードマップを確認して頑強な物件を選定する
- ・ 食料品の備蓄や、太陽光発電などを検討
- ・ 各備品や食料、水の備蓄を増やす。非常持ち出し袋をつくる等追加する
- ・ 非常食の確保。住む場所のハザードマップを調べておく。周りとのコミュニケーション
- ・ 災害を想定して水や食糧などの災害対策はしていく。店の補強なども考えていく
- ・ 災害時にすぐに避難出来るよう備えるのと、ケガをしないように安全確保
- ・ 水など備蓄できるものを家に備えておき、いつでも逃げられるように準備しておくこと

## 中国・四国

### ● 愛媛県

- ・ 地震保険、火災保険の加入。他不動産も含めて検討する
- ・ 今後、南海トラフ地震など数年の間に起こりうる可能性がある為、保険の見直しや、店舗内の整理整頓など改善して行く
- ・ 災害時、飲食物の確保準備を行う
- ・ 火を使う仕事なので、ガス関係で二次災害にならない対策をしていく

### ● 岡山県

- ・ お客様のための非常用持ち出しバックの準備、備蓄物を改めて確認する

### ● 山口県

- ・ 津波が来たら終わりなので、津波対策をしていく

# 九州・沖縄

## ● 鹿児島県

- ・ 予算次第ではあるが蓄電池は導入したい。備蓄品は定期的に更新する

## ● 大分県

- ・ 非常用のバッテリーやタップ等、パソコン回りに関する災害対策商品などを導入していく

## ● 福岡県

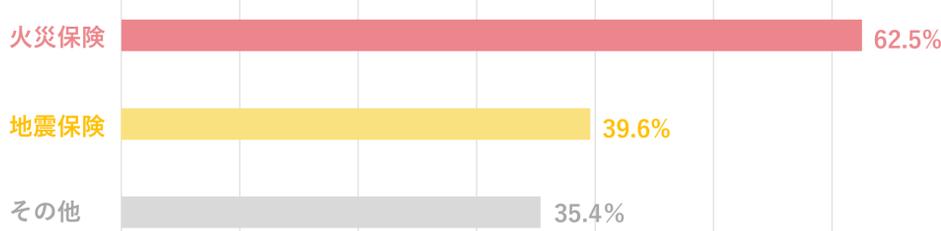
- ・ 停電時に備えられるようなバッテリーを購入する
- ・ 備蓄と非難場所や地域との連絡網をしっかりとすることで、横のつながりを大切にする
- ・ 食料、飲料はもっと増やしておく。モバイルバッテリーや電力の確保も考える
- ・ 地震保険に加入。地震時のための防災グッズの準備及び建物使用者への周知徹底
- ・ 食料と水の消費期限を確認して常に入れ替えを行う。災害に強そうな地域、建物に引越してできるように準備し続ける

## 自然災害に備えた保険加入

－自然災害に備えた保険に加入していますか？

■ はい  
**36.8%**

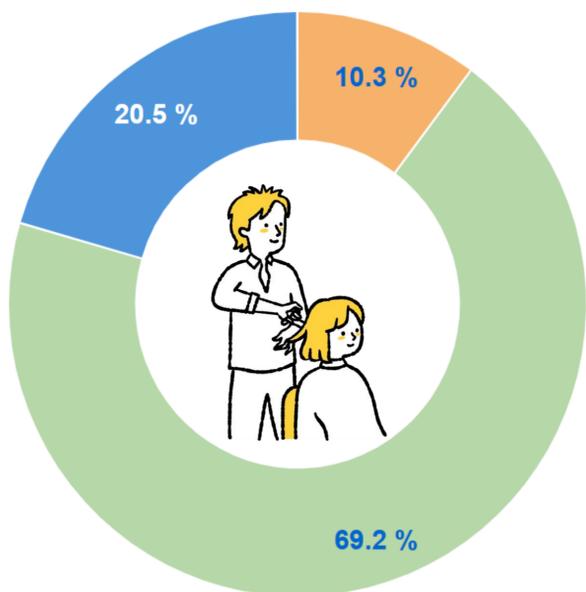
■ いいえ  
**63.2%**



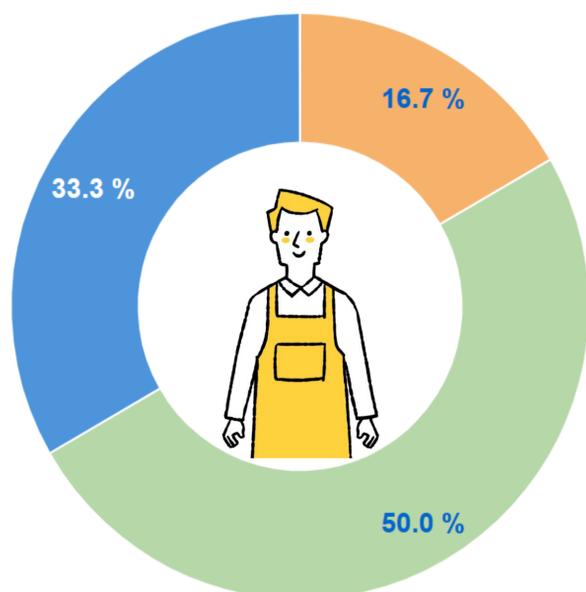
## 業界全体の災害対策への進捗

－業界全体での災害対策は、どの程度進んでいると感じますか？

### 美容業

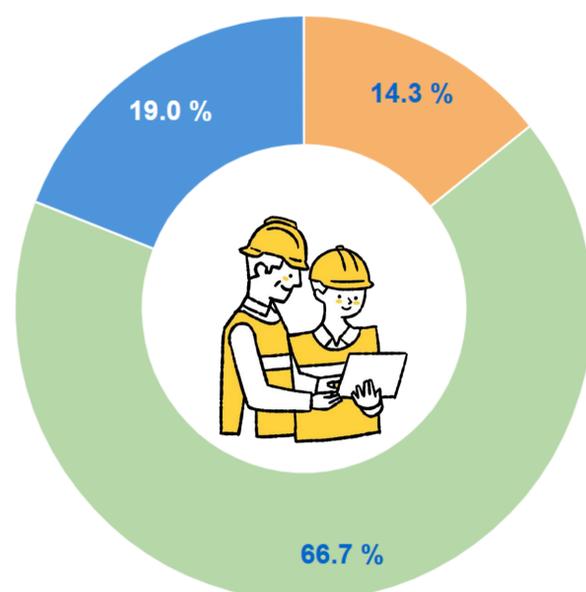


### 小売業

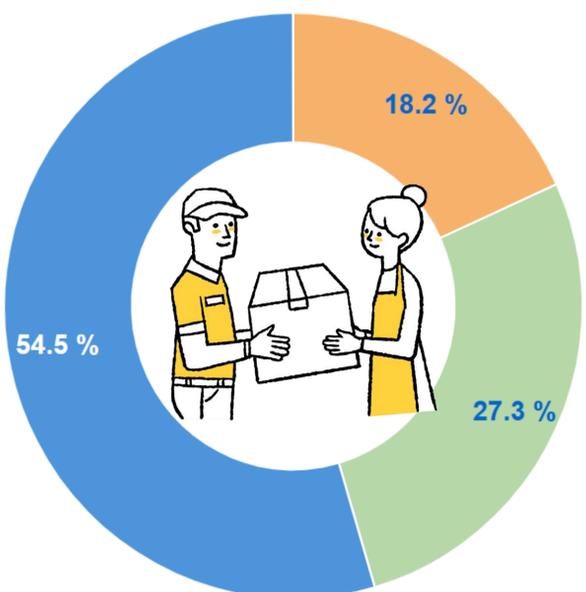


■ 非常に進んでいる ■ ある程度進んでいる ■ まだまだ改善の余地がある ■ 何も取り組んでいない

### 建設業



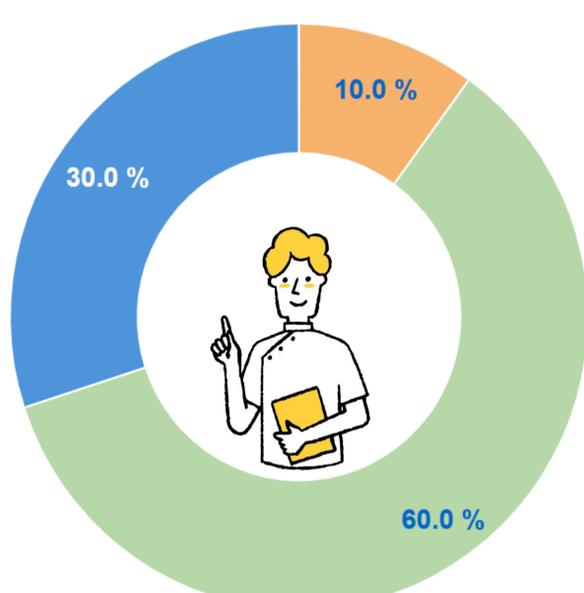
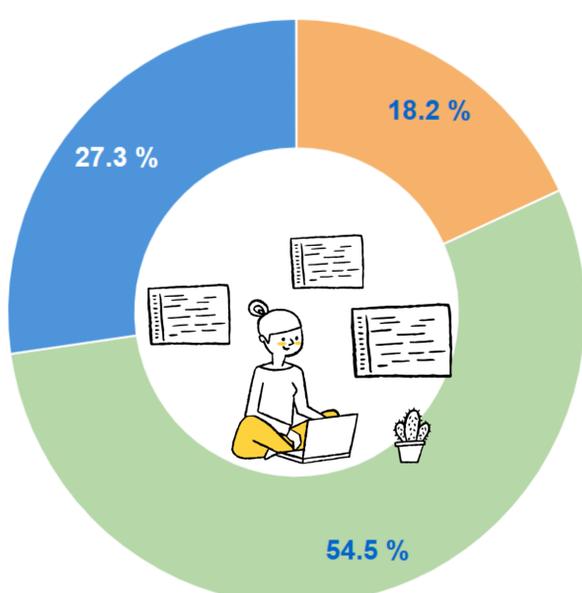
### 運送業



■ 非常に進んでいる ■ ある程度進んでいる ■ まだまだ改善の余地がある ■ 何も取り組んでいない

## WEBサービス業

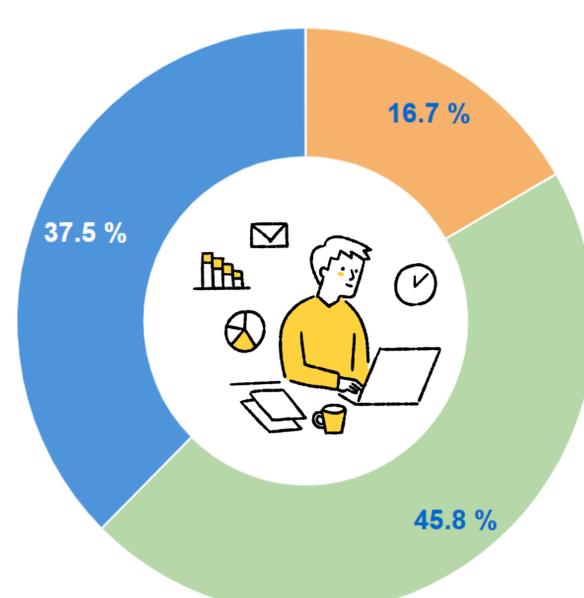
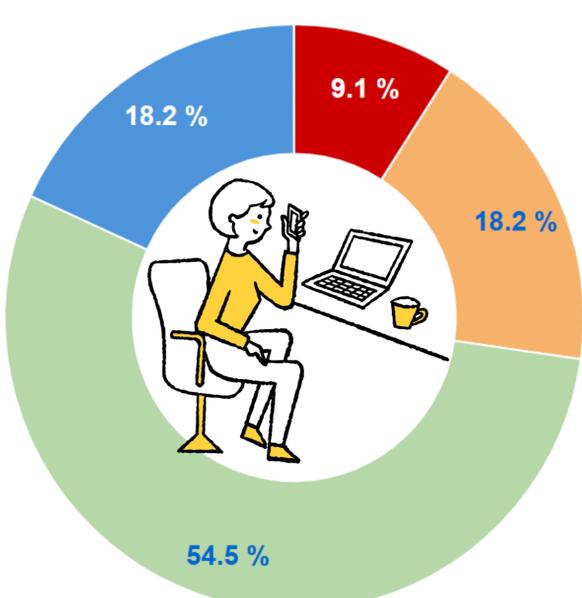
## 医療・福祉業



■ 非常に進んでいる ■ ある程度進んでいる ■ まだまだ改善の余地がある ■ 何も取り組んでいない

## 個人投資家

## その他



■ 非常に進んでいる ■ ある程度進んでいる ■ まだまだ改善の余地がある ■ 何も取り組んでいない

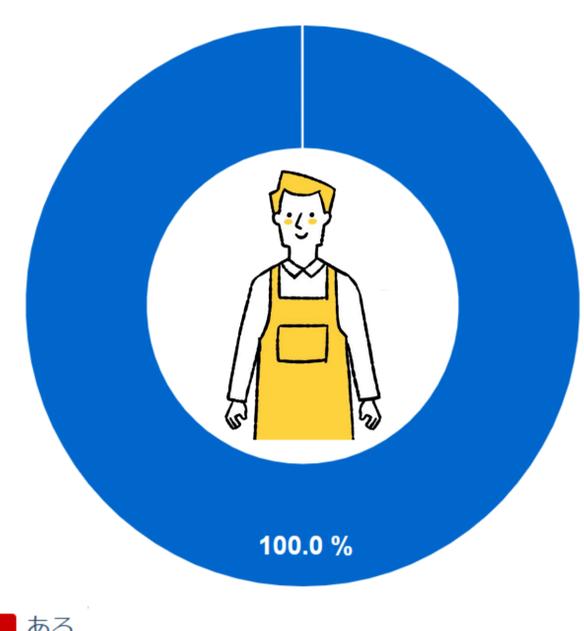
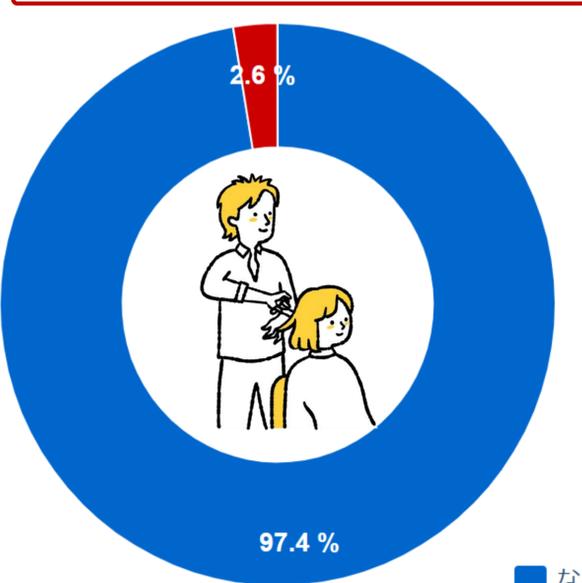
## 業界における災害対策ガイドライン・ルール

—業界内で災害対策に関するルールやガイドラインはありますか？

### 美容業

### 小売業

● お客様への連絡に関するルール明記

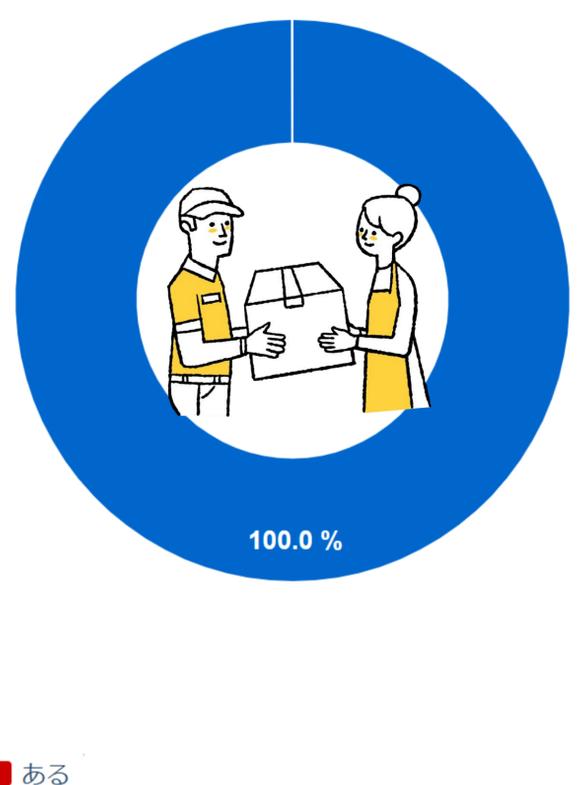
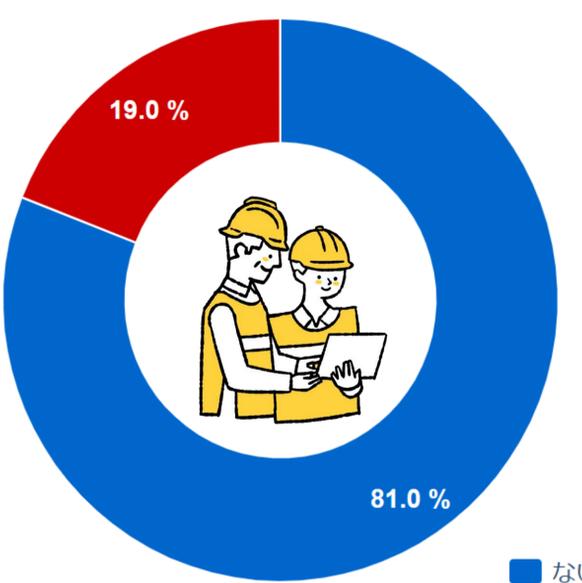


■ ない ■ ある

### 建設業

### 運送業

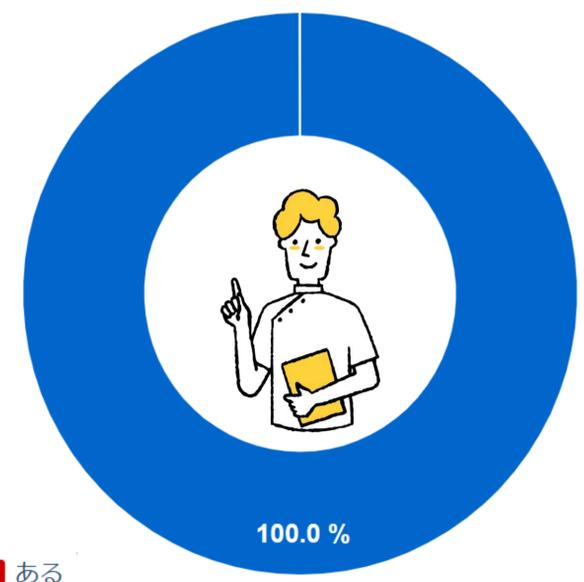
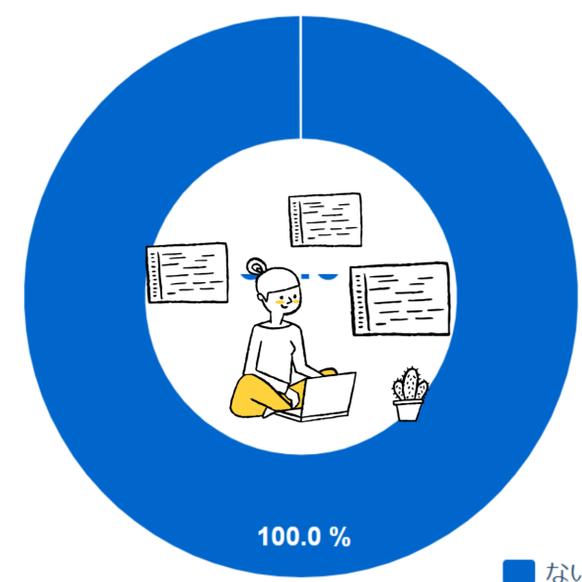
● 損害保険の斡旋、緊急時連絡網等  
● 非常時の避難経路等は整備されている所が多い  
● ハザードマップと共に海から6キロ離れた避難場所、ルート、などが明記されている



■ ない ■ ある

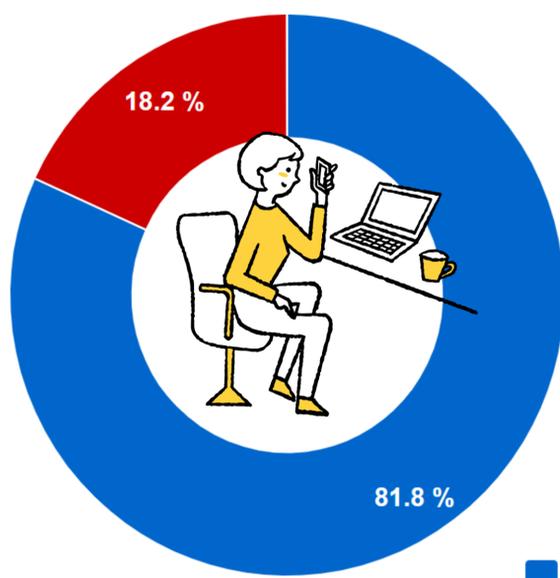
## WEBサービス業

## 医療・福祉業

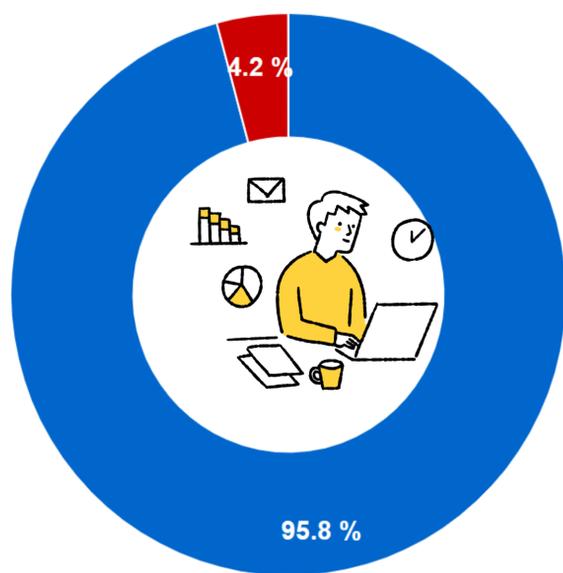


■ ない ■ ある

- 仮想通貨業界には、災害対策に関する規定やガイドラインがあり、金融庁による指針やISOの規格に基づいてシステムのバックアップや復旧、情報発信体制の整備、ユーザー対応などが求められている
- 世界中に分散することによるリスク軽減



■ ない ■ ある



## 業界において必要な災害対策

—業界全体において、どのような災害対策の取り組みが必要だと思いますか？

### 美容業

- 災害が起きたときに速やかに避難できる仕組み
- 災害時のスタッフのお客様への対応
- お店や事業所周辺の避難場所の確認や、防災グッズの備え、火災保険への加入
- 各店の横のつながりを作り、店舗によっては避難所や何かのスポットとして連絡を取り合えると良い
- 災害時にシャンプーなどをしてあげられるように出来るといい
- 業界横断的な協力体制の構築、デジタル技術の活用、店舗・従業員のリスクマネジメント、社会貢献活動など
- 災害によってお店が営業できなくなった時にどのようにしていくか
- 仕入先の確認、顧客への緊急報告の方法を今一度確認する。水道ガス・電気の業者も確認する
- 水道電気が使えないとできる事が限られてくるので、発電機や蓄電器があると良い
- 移動式の車などを用意して、セット面やシャンプー台などを用意できると良い
- サロンの立地や規模で取り組みはさまざまであるが、近隣のサロンで困った事があったらお手伝いしたい
- いざという時の対策として、通路を確保しやすくする整理整頓
- 水道や電気が使えない状況でも仕事をする方法を考えること
- 美容業界に留まらず、全体的な視野で安全管理体制などを他業界から学んで行きたい
- 災害が起きて営業が出来ない場合の資金調達が必要と考えている
- 使って無いもののコンセント周り、掃除整理整頓を徹底
- いざという時に慌てない様にシミュレーションや防災訓練等を定期的に行う事
- 業界全体において災害対策の取り組みのガイドラインをわかりやすくする
- 地震や火事が起きた時に対応出来るような対策が必要
- 美容組合が災害対策の取り組みの働きかけがあるとよい
- いつ災害が起きるかわからないので、早めに備えること
- 避難誘導をスタッフがいざという時にできるように知識や練習をしていく必要がある
- 生活に困らないような金銭的な備えやスタッフが安心して働けるように備える
- 災害の時に横のつながりで、近くのお店同士が連携を取って助け合っていく事
- 災害が起こった際、営業ができない状況になった時に、他店とどれだけ協力できるか
- 避難訓練やハザードマップなどを確認する
- 営業時間内時、営業時間外時に分けて対策（行動）を考える事が必要だ
- 学校などの施設を強化。食事、寝る場所、生きていくために必要な場所が必要
- 今の店舗からの避難場所の確認をする。火災保険の加入

### 小売業

- 自社在庫の保管倉庫分散や、災害時の商品発送について予め対策を考えておく必要がある
- 防災訓練
- お客様が商品を取りやすい状態で、商品が落下しないような対策

### 建設業

- 災害に対する意識が低いように感じるので、意識しある程度の準備が必要だ
- 避難場所や非常食の確保
- 作業場所が高所の時もあるので、震度何以上や風速何以上は作業中止という基準がほしい
- 海が近いので、皆んなに避難経路をちゃんと説明して、困難させないようにする
- 業界事態がだらしない世界なので、1人1人が考えていかないといけない
- 災害がおきた場合の保証などの補充
- 市長村と連携したルールづくりやマニュアルがあれば、いざ災害が発生した時に地域ぐるみで迅速に対応出来るのでは。柔軟な対応が災害時には必要
- 物流が止まることによる資材の不足を補うために、在庫の拠点を複数箇所に分散する必要がある
- 地域との連携、他の会社との連携。常に情報収集、非常事態に備え必要な対策、改善を見極める
- 災害が発生すると現場が止まってしまうので、お客様への連絡・取引業者への連絡がスムーズに取れるようにしなくてはいけない
- 災害に対してもっと理解し、危険を予測して改善案を出し皆で共有
- 災害対策するとすれば、保険加入が最適かと思う
- 各世帯、各事務所の出入りする人数分の数日間食料備蓄等をする
- 建設業界では現場自体は保険に加入しているが、個々の対策がまだ不十分
- 地震時を想定した、避難訓練の実施及び他業界が行っている災害対策の周知
- 建築物ですので、火事は1番対策しなければいけない

## 運送業

- 地震が起こった後だとエレベーターが使えなくなる。暴風だと荷物を固定する術がないので考える必要がある
- いつ起こるかかわからない為、突然起きたときに対応できる連絡体制
- 業界全体においては保存食料や飲料水の備蓄と非常用ラジオや簡易トイレ等の災害セットの備えと、特に地震災害においては事前に倒れやすい物の固定等が重要になる
- 避難場所の把握や非常持出袋の確保など、特に個人としての対策
- 地震災害での自身の安全を第一にしながら、協力体制を取り組める仕組み
- 収入保証のある保険に加入し、ある程度の安心があると働きやすくなる

## WEBサービス業

- リモートワークが進んだことで、災害による通勤不可な状況には対応できると思われる。一般・社内ネットワークやデータセンターに障害があった場合の対策は必要になってくる
- 災害が起こっても比較的ダメージが低く、誰かにボタンタッチできる環境が整ってはいるが、常にネットにつながるしかできないため、アナログな対応ができる環境が必要
- オフィスが高層階にあり危険。自宅から離れた場所にオフィスがある為、帰宅困難者が発生しやすい
- 備えはしているものの、その備えでどれくらいの災害の許容があるのか明示されておらず、とりあえず言われたからやっているという印象を受けている。物品を備えても行動まで落とし込めないと備えても意味がないと感じる
- システムを沖縄など遠くの別拠点に用意して何かあった場合に切り替えられるようにしておきたい
- すでに大手企業では実施しているデータ・システムの2重化が重要、中小企業でもクラウドなどを利用したバックアップが必要

## 医療・福祉業

- リスク回避の意識をより高め、非常時に役立つ内容にする為の意識作りから行う
- 地震による事務所内の設備の倒壊対策、事業者と顧客の身の安全対策
- 避難所生活の長期化により、感染症リスクを予防するためにも口腔ケアの必要性を周知していく
- 災害が起きた場合に救護する立場になるので、救命救急の知識の充実が必要だ
- 電気が通らなくなった時に、病院には完備されている自家発電機を町の開業医も導入できる様にする
- それぞれのケースに沿って、災害が起きた時の流れを皆が把握しておく
- 医療の現場では災害時には命に関わる問題になるので、関係各所とも迅速に連携を図れるように災害時の連絡方法等を再確認して行くことが必要
- 業界全体における災害対策の取組としては、地震の対策は必要だ
- 利用者とのガイド時に被災した時の津波や地震からの避難、生活の確保

## 個人投資家

- 家の火災保険、地震保険が必要。電気・水のライフラインの確保
- インターネット環境がないと仕事にならないので、どのような状況でも対応出来ないといけない
- 復旧計画の策定、情報提供・バックアップシステムの強化、ユーザーへの迅速な対応
- 投資業界においては電気が必需品の為、太陽光や蓄電池の普及が不可欠
- 住んでいる地域の環境に合った災害対策の取り組みが必要
- 世界中にネットワークの分散をさせることで、特定の地域で災害が起こったとしても常に稼働し続けるシステムをより強化していくこと
- インフラの整備、帰宅困難難民が出ないように交通網を整えること
- 災害時には資産を売却する人が多いと思うから、一斉にアクセスしてもダウンしないサーバーを準備
- したほうが良い
- リスクを減らす意味では、一点集中しないで満遍なく投資することが最も大切だ。場所は関係なくネットが繋がれば投資ができるが、有事の際にはネットが繋がらなくなることが多いのでアクセスが集中してもパンクしないネット環境の構築は大切
- 個々人が災害対策を考えて、情報発信を行い助け合うこと

## その他

- 飲食業
  - 地震後の二次災害(火災)を防ぐ為にも保健所からの指導をもっと強化すべき
  - どうしても火を使う店舗が主になっていると思うので二次災害起こさない為のマニュアル作成
- 営業代行
  - 業界は関係無しに生命の安全の確保が取れていれば(飲食物や避難場所など)
- 翻訳
  - 災害が起きたときの連絡先や、書類やデータの保管の仕方などを周知しておくこと
- 不動産賃貸業
  - 緊急時の自家発電。賃貸業者に対する災害時の対応の準備と情報提供
- IT
  - データの保管場所を複数で管理するなど1拠点が被害を受けても大丈夫なようにする
- 保険代理店
  - 各種保険内容を充実させることと、今後の加入率増加に向けて研修を推進すること
  - 損害保険代理店のため災害があれば事故報告があり保険会社に伝える必要がある
- 電気工事業
  - 部品に関して狭い地域での製造を改め、災害が起こっても安定して部品の供給が行えるような取り組みが必要
- 空調設備
  - 災害時に食料と水、トイレ等の環境を整備しておくのが必要だと思う
- 部品組み付け
  - 初めは、災害時に機敏に対応できる体制をつくること。それから緊急事業を実施できるようにするなど、対応体制の強化を進める
- 保険業
  - 災害対策の取り組みは必要であると思われるが個々に考えていくことも大事だと考えられる
  - 災害発生時の個人情報流出に対して対策が必要
  - 災害が起きた際の連絡手段や、各種連携方法の確認や指導などもないので、そこからだと思う

● アパート経営

→地域の防災訓練などに参加し、日頃から防災に関する意識を高めておく

● 不動産売買仲介業

→建築中の物件や売買中の空室中古物件に関する災害対策を検討する

● 不動産賃貸業

→自然災害保険の普及、地域町内会等との交流・連携がもっと必要

● アニメーション監督 演出

→避難経路の確保

● 情報通信業

→リモートワークが一般化してきた。個人作業が増えているので、個人ベースの災害対策を策定する必要があると感じる

● 外部講師

→活動中に災害にあった時の対策が必要だと思う。特に地震発生時の対策

● 製造業

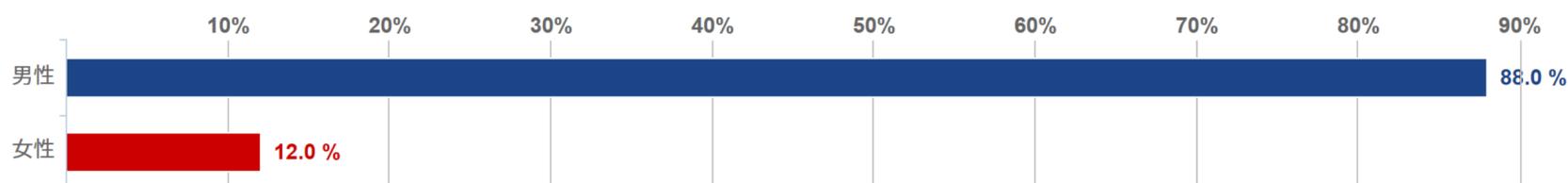
→緊急時に、何処にどのようにして避難するかあらかじめ決めてほしい

● 保険募集人

→生損保共に万一の場合の対応はあるが、その時代理店として何が出来るのか考えておく必要はあると思う

## 本調査の回答者属性

### ▼ 性別



### ▼ 年齢

